

函館線 大沼駅構内で発生した列車脱線事故について

平成25年9月21日

J R 北 海 道

- 1 発生日時 平成25年9月19日(木) 18時05分頃 天候 晴れ
- 2 発生場所 函館線 大沼駅構内 (函館駅起点 26K864m)
- 3 列車 臨高速貨 8054列車(帯広貨物駅発 熊谷ターミナル駅行き)
現車 17両 換算 76.5両
- 4 前頭車 DF200-2(鷲別機関区 所属)
- 5 概況

本列車、当駅定時発車後、速度約20km/hで力行運転中、運転士は後部から引っ張られるように感じ、P21号付近(26k864m)に停止した。

停止後、編成を確認したところ、貨車の前から5~8両目が脱線しているのを認め輸送指令に報告した。その後、保線係員の調査により5両目は後ろ台車の2軸が進行右側、6両目は前台車2軸が進行右側、7両目は前2軸が進行左側、後ろ2軸が進行右側、8両目は前台車2軸が進行右側に脱線していることが判明した。

6 原因 調査中

7 付記

- (1) 当駅2番線は副本線であり、旅客用のホームはなく旅客の定期列車は使用していない。
- (2) 本列車運転士は当駅発車後、速度約20km/hで3ノッチ力行運転中、後部から引っ張られる感じと共にブレーキ管の減圧を認め、ポイント21号イ付近に停止している。
- (3) 本列車の当駅2番線駅中から函館駅方本線への進路は、出発信号機を過ぎ約5mで、その後ポイント24号、22号口、22号イ、21号イを通過していく進路となっている。
- (4) 軌道は2番線は木マクラギでレールを犬釘およびタイプレート(締結装置)で締結している。
- (5) 直近の線路検査履歴は、徒歩巡回9月18日、軌道変位検査は6月7日である。
- (6) 6月7日に行った軌道変位検査の結果、整備基準値を超える軌間変位があった。
- (7) 当駅2番線を走行する列車は一日1本で、3084列車(13時40分発)のみであるが、本列車は臨時列車であり当日2本目であった。
- (8) 3084列車の運転士は、当駅2番線から13時40分(定時)に発車しているが異常な揺れ等は感じていない。

函館線 大沼駅構内における列車脱線事故について

詳細図

函館方

旭川方

